

問一・次の二重傍線部A～Eのカタカナを漢字に直しなさい。

- ・ 志望大学の教授がシツ筆^Aした論文を読む。
- ・ バイオリンの美しいセン律^Bに魅了される。
- ・ 日々の練習で、サッカーの技術をカク得^Cした。
- ・ 昨今の天気には地球温暖化の影響がケン著^Dに現れている。
- ・ 言葉は、自分の気持ちを相手に伝えるための媒カイ^Eです。

問二・次の傍線部の意味として最も適当なものを、次の中からそれぞれ一つ選び、記号で答えよ。

- ・ 「勉強も運動もできる生徒に、嫉妬して、やつかむ^①人もいた。」

ア：うらやんで イ：悲しんで ウ：気に病んで エ：喜んで

- ・ 「嫉妬や陰口を素知らぬふり^②でやり過ごす。」

ア：知ったかぶり イ：そっぽを向くふり ウ：気が付かないふり エ：知っているふり

問三・次の慣用句の意味として最も正しいものを、次の中からそれぞれ一つ選び、記号で答えよ。

(1)「我田引水」

ア：人目を気にしていながらも、勝手気ままにふるまうこと。

イ：自分の都合のいいように、考えたり行動したりすること。

ウ：各自が勝手なことをしようとすること。

エ：好きなだけ自分で水を使ってしまうこと。

(2)「五十歩百歩」

ア：人より少しでも先にでようとすること。

イ：絶えず努力しているということ。

ウ：本質的な違いがないこと。

エ：大きな違いがあること。

(3)「歯に衣着せぬ」

ア：見た目を取りつくりよう。

イ：見た目を気にしない。

ウ：思いがけないことを言う。

エ：本音を率直に言う。

問四・次の文で始まる古典作品の作品名と、成立した時代として適当なものを、次の語群からそれぞれ選び、記号で答えよ。

今は昔、竹取の翁といふものありけり。野山にまじりて竹をとりつつ、万のことにつかひけり。名をばさぬきのみやつことなむいひける。

【語群】

(1) 作品名

ア：奥の細道

イ：源氏物語

ウ：平家物語

エ：竹取物語

オ：徒然草

(2) 成立した時代

ア：奈良時代

イ：平安時代

ウ：鎌倉時代

エ：室町時代

オ：江戸時代

問五. 次の空欄（ 1 ）（ 2 ）に当てはまる語句を、次の語群よりそれぞれ一つずつ選び、記号で答えよ。

- ・ 文化祭の準備は順調に進んでいます。（ 1 ）本番まで残りわずかです。最後まで気を抜かず、みんなで成功を目指しましょう。
- ・ 将来の目標について調べました。（ 2 ）、自分が進みたい進路について具体的に考えるようになりました。

【語群】

ア:さて イ:ところが ウ:また エ:そして オ:つまり